



2023年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社スペースシャワーネットワーク  
代表者名 代表取締役社長 林 吉人  
(東証スタンダード・コード4838)  
問合せ先 取締役 案納 俊昭  
電 話 03-3585-3242  
メールアドレス kouhou.ir@spaceshower.net

### 2023年3月期 第3四半期決算 質疑応答集

2023年1月27日に公表した当社の2023年3月期第3四半期決算に関し、公表以降に株主様、投資家様などの方々から頂戴したお問い合わせや、感想につきまして、その内容と回答を以下の通りお知らせいたします。なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q：今回の通期業績修正で、営業利益が黒字に転換しました。このトレンドは今後加速していくと考えて良いでしょうか。

A：ライブ・イベント関連事業については、2022年9月まで、収容率などの厳しい制限のもとで営業を行ってまいりましたが、2022年10月以降、安全計画策定等、一定の感染防止策を前提として、収容率100%での営業が可能となりました。こうした制限の緩和に合わせ、日本全体の意識がコロナと共生する方向に急速に変容したことから、ライブ・イベント関連の営業が当初見通し以上に回復し、営業黒字へ転換の見込みとなりました。さらに、2023年5月には、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられ、各種制限の緩和が一段と進むことが見込まれますので、来年度以降、ライブ・イベント関連の既存事業における営業黒字の傾向は加速するものと考えております。また、2023年3月に予定しております、あっとほおーむカフェの新規出店による営業利益への貢献にも期待しております。

Q：中期経営計画では2025年3月期に売上高200億円、営業利益10億円と高い目標を掲げていますが、達成の見込みはあるのでしょうか。

A：今年度は、新規大型イベントの立ち上げや、「あっとほおーむカフェ」の新規出店などの投資、デジタル配信の新規クライアントの獲得などに取り組んでまいりました。来年度以降、これら取り組みの成果と

して、収益拡大の実現を見込んでおります。今後も、中期経営計画の重点領域である「ライブ・コンテンツ」、「ソリューション」の両セグメントの成長に向けた、様々な取り組みを進め、中期経営計画の数値目標達成を目指してまいります。

Q：あっとほおーむカフェが国内で10店舗を達成、今回の業績にも大きく寄与しそうですが、今後の出店展望等の計画を教えてください。

A：昨年12月に発表いたしました、新店舗「あっとほおーむカフェ大阪本店3F」は、2023年3月のオープン予定となりますので、今年度の業績への影響は限定的となりますが、来年度以降については、業績への貢献を見込んでおります。また、今後の出店計画につきましては、地域の特性やインバウンドの回復を含めたマーケットの状況などを慎重に見極めながら東京や大阪だけでなく、その他の地方への出店についても検討してまいります。

Q：御社ディストリビューション事業における顧客獲得の進捗や、今後期待されることについて教えてください。

A：ディストリビューション事業において、新規のクライアントについては獲得が進んでおります。当社は、グローバルディストリビューション事業を展開するFUGA社と連携していることを強みとしておりますので、海外向けの配信に注力されたい事業者を中心に、世界的に人気のあるアニメ・ゲーム系IPを保有する企業など、様々なジャンルのクライアントにアプローチしております。

Q：有料放送事業の状況について教えてください。

A：有料放送事業については、厳しい市場環境にあります。こうした状況の中、昨年10月に番組コンテンツの大幅な改編を行いました。この結果、ケーブルテレビ局での視聴率向上や、スカパー！の単チャンネル契約の新規加入者増加などの効果が出始めております。引き続き、有料放送事業の収益を堅守するため、ユーザーのニーズに最適化したコンテンツ制作、番組編成に注力してまいります。

以上